

作成日 2024年 4月 3日

安全データシート

1. 化学品および会社情報

化学品の名称	2-メトキシ-4-プロパ-2-エニルフェノール 2-Methoxy-4-prop-2-enylphenol
製品名	オイゲノール
製品コード	F-019809
SDS整理番号	ZC24087-01
会社名称	善ケミカル株式会社
住所	東京都台東区台東2-30-2 善ビル3階
電話番号	03-3839-5861
FAX番号	03-3839-5877
緊急連絡電話番号	03-3839-5861
推奨用途および使用上の制限	香料、バニリン・イソオイゲノール原料、農薬(失効農薬)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	該当区分なし
健康に対する有害性	急性毒性(経口) 区分4 皮膚腐食性/刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A 呼吸器感作性 区分1 皮膚感作性 区分1
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性) 区分3 水生環境有害性 長期(慢性) 区分3

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については「分類対象外」、「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H302 飲み込むと有害
H315 皮膚刺激
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H319 強い眼刺激
H334 吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ
H402 水生生物に有害
H412 長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P264 取扱後は手や顔をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P284 【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。

【応急措置】

P301+P312 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
P330 口をすすぐこと。
P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
P332+P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

- P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P342+P311 呼吸に関する症状が出た場合: 医師に連絡すること。
- 【保管】
なし
- 【廃棄】
P501 内容物、容器の廃棄を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成および成分情報

単一物質・混合物の区別
化学名または一般名

慣用名または別名

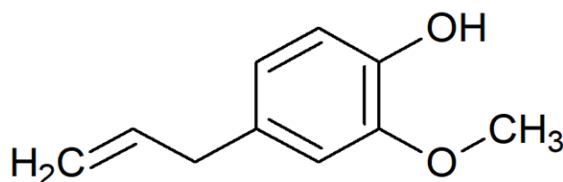
CAS番号

分子式 (分子量)

構造式または示性式

成分および濃度または濃度範囲
官報公示整理番号

単一物質
2-メトキシ-4-プロパ-2-エニルフェノール
2-Methoxy-4-prop-2-enylphenol
1-アリル-4-ヒドロキシ-3-メトキシベンゼン
2-メトキシ-4-(2-プロペニル)フェノール
4-アリルグアヤコール
4-アリル-2-メトキシフェノール
4-ヒドロキシ-3-メトキシ-1-アリルベンゼン
4-(2-プロペニル)-2-メトキシフェノール
エンゲノール
オイゲン酸
オイゲノール
カリオフィル酸
1-Allyl-4-hydroxy-3-methoxybenzene
2-Methoxy-4-(2-propenyl)phenol
4-Allylguaiacol
4-Allyl-2-methoxyphenol
4-Hydroxy-3-methoxy-1-allylbenzene
4-(2-Propenyl)-2-methoxyphenol
Caryophylllic acid
Eugenic acid
Eugenol
97-53-0
C10H12O2 (164.204)



化審法: (3)-637
安衛法: 公表化学物質

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。
ただちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、または取り去ること。
皮膚を多量の水と石けんで十分に洗うこと。

眼に入った場合

皮膚刺激が生じた場合には、医師の診察/手当てを受けること。
水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
口をすすぐこと。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

気分が悪いときは医師に連絡すること。
適切な保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤
火災時の特有の危険有害性

粉末消火剤、泡消火剤、水噴霧、二酸化炭素
燃焼や高温により分解し、有毒なヒュームを発生するおそれがあるので注意すること。

特有の消火方法 関係者以外は安全な場所に退去させること。
消火作業は風上の安全な地点から行き、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いること。
周辺火災の際は危険でなければ火災区域から容器を移動すること。

消火活動を行う者の特別な保護具および予防措置 消火作業の際は、必ず保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置 個人用保護具を着用すること。
漏出場所の風上から作業を行い、風下の人を退避させること。
漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止すること。

**環境に対する注意事項
封じ込めおよび浄化の方法および機材** 製品が排水路に排出されないよう注意すること。
粉塵の飛散に注意しながら掃き集め、密閉容器に回収すること。
付着物、回収物などは関係法規に基づき速やかに処分すること。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
適切な保護具を着用すること。
粉塵が飛散しないよう注意すること。

安全取扱注意事項 粉塵やエアゾールが発生する場合には、換気、局所排気を用いること。
皮膚、眼および衣類との接触を避けること。
取扱い後は手や顔など、露出した部分をよく洗い、うがいをする。

保管

安全な保管条件 容器を密閉し、冷暗所にて保管すること。
施錠して保管すること。

安全な容器包装材料 酸化剤などの混触危険物質から離して保管すること。
法令の定めるところに従うこと。

8. ばく露防止および保護措置

**管理濃度
設備対策** 設定されていない。
この物質を取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
装置、機器の密閉化あるいは局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸用保護具 防毒マスク、簡易防毒マスク等。

手の保護具 保護手袋

眼、顔面の保護具 保護眼鏡。状況に応じ保護面。

皮膚および身体への保護具 保護衣。状況に応じ、保護長靴。

9. 物理的および化学的性質

物理状態 液体

形状 透明

色 淡黄色

臭い クローブ臭

融点/凝固点 -7.5℃

沸点または初留点および沸点範囲 255℃

可燃性 データなし

爆発下限界および爆発上限界/可燃限界 データなし

引火点 104℃

自然発火点 データなし

分解温度 データなし

pH データなし

動粘性率 データなし

溶解度

[水] 0.0398mol/L

[その他の溶剤]

混和: エタノール、エーテル

可溶: クロロホルム、酢酸、油

n-オクタノール/水分係数(log値) 2.27

蒸気圧 0.0226mmHg(25℃)

密度および/または相対密度(g/ml) 1.0640 ~ 1.0668(25℃)

相対ガス密度 データなし

粒子特性 データなし

蒸発速度(酢酸ブチル=1) データなし

10. 安定性および反応性

反応性	データなし
化学的安定性	適切な条件下においては安定。
危険有害反応可能性	特別な反応性は報告されていない。
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	酸化剤
危険有害な分解生成物	二酸化炭素、一酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性	経口 経皮 吸入: ガス 吸入: 蒸気 吸入: 粉じん および ミスト	(ラット)LD50: 1930mg/kgおよび2680mg/kg データなし データなし データなし (ラット)LC50: >2.58mg/L(4時間)
皮膚腐食性/刺激性		(ウサギ)皮膚一次刺激指数: 2.92(本物質0.5mLを希釈せず4時間)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		データなし
呼吸器感受性		データなし
皮膚感受性		モルモットを用いたマキシマイゼーション試験、マウスを用いた局所リンパ節増殖試験(LLNA法)、およびモルモットを用いたOptimization testでいずれも陽性。またヒトでは皮膚炎を訴えた化粧品使用者の155人中4人、および歯科患者の18人中16人がパッチテストで陽性。
生殖細胞変異原性		マウスに腹腔内投与後の骨髓細胞を用いた小核試験(体細胞in vivo変異原性試験)で陰性。
発がん性		IARCによる発がん性評価においてグループ3に分類
生殖毒性		データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		データなし
誤えん有害性		データなし

12. 環境影響情報

生態毒性		
魚類		魚類(ファットヘッドミノー) LC50: 24.0mg/L(96時間)
甲殻類		データなし
藻類		データなし
残留性・分解性		データなし
生物蓄積性(BCF)		データなし
土壤中の移動性		
n-オクタノール・水分配係数	2.27	
土壤吸着係数(Koc)	データなし	
ヘンリー定数(PaM3/mol)	データなし	
オゾン層への有害性		当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 廃棄に際しては適切な保護具を着用すること。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。
汚染容器および包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、またはリサイクルに関する情報	容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	該当なし
国連分類	国連の分類基準に該当せず。
その他の注意	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。 重量物を上積みしないこと。
緊急時応急措置指針番号	該当なし

15. 適用法令

労働安全衛生法	皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質(安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・5該当物質の一覧)
---------	---

<p>消防法</p> <p>下水道法</p> <p>特定有害廃棄物輸出入規制法</p> <p>外国為替及び外国貿易法</p>	<p>第4類引火性液体、第三石油類非水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第1)</p> <p>水質基準(法第12条の2第1項、施行令第9条の4)</p> <p>特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号)</p> <p>輸入承認貨物・2の2号承認の第2(法第52条、輸入令第4条第1項第2号、昭和41年4月30日告示第170号・2の2の表の第2)</p> <p>輸出許可貨物・補完品目(キャッチオール規制)(法第48条第1項、輸出令第1条別表第1の16の項)</p> <p>輸出承認貨物・特定有害廃棄物等(法第48条第3項、輸出令第2条別表第2の35の2の項)</p>
--	---

16. その他の情報

主な参考文献

安全データシート "オイゲノール", 職場の安全サイト 2012/03/13 改訂版
 独立行政法人製品評価技術基盤機構 NITE統合版(2024/04/02 アクセス)

webデータベース "ezCRIC+"(2024/04/02 アクセス)

ウェブサイト "PubChem"(2024/04/02 アクセス)

安全データシート "Eugenol", 東京化成工業株式会社 2022/03/18 改訂版

記載内容の取扱いについて

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

改訂履歴 2024年 4月 3日 作成